

平成19年度第2回鎌ヶ谷市地域公共交通会議

会議録

日 時 平成19年10月10日(水) 午後2時～午後2時30分
場 所 鎌ヶ谷市役所6階第1・第2委員会室
出席委員 豊田朋二、布施泰男、岡秀明、土屋裕彦、小易和彦、星浪二、土屋裕二、緒方宗生、加藤廣(代理;増田清)、田村仁(代理;宮本敏夫)、大澤勉、三橋裕樹、北村眞一、海老原正博、渡来四郎
(敬称略)
欠席委員 川口千晴、小池満尚(敬称略)
事務局 海老原企画政策課長、
杉山企画政策課主任主事、大田企画政策課主事
記 録 大田

○ 委嘱状交付式

会議に先立ち委嘱状交付式が行われ、清水聖士市長から委嘱状が新任の土屋裕彦委員、小易和彦委員、星浪二委員に交付された。(欠席の川口千晴委員に関しては別途交付することとする。)

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名人の選出

(会長)

会議録署名人の選出につき、事務局から提案はあるか。

(事務局)

慣例により名簿順でお願いしている。前回の会議が、布施委員と岡委員だったので、今回は土屋裕彦委員、小易和彦委員にお願いしたい。

(会長)

事務局案について、意見等あるか。

(一同)

異議なしと発声する者あり。

(結論)

会議録署名人は、土屋裕彦委員、小易和彦委員が選出された。

4 内 容

(1) 鎌ヶ谷市役所周辺におけるコミュニティバス・ルートの変更について

(会長)

事務局から説明願いたい。

(事務局)

この件については、平成19年3月に開催した地域公共交通会議において承認をいただいているが、実施時期については未定となっていた。現在、庁舎付近では都市機構による工事が行われており、この工事に伴い国道464号線から庁舎に入る経路が変更になる予定である。(追加配付資料1枚目の裏面の図を参照)。現在は図面上の黄色く塗られた箇所から入って来ているが、この入り口が閉じられるので、その後は赤く塗られた経路で庁舎内に入ってくることとなる。工事担当課の契約管財課に確認したところ、この経路の変更は平成20年3月を予定しているとのことだったが、正確な期日については確定していない。本日は、この経路の実施時期につき、赤色経路の道路の供用開始日に合わせ、具体的な期日については事務局に一任ということでご承認いただきたい。

(会長)

ただいまの説明について、何か質問・意見等あるか。

(一同)

特に異議なく、承認された。

(2) 東武鎌ヶ谷駅西口周辺におけるコミュニティバス・ルートの変更について

(会長)

事務局から説明願いたい。

(事務局)

追加配付資料2枚目の裏面の図に基づき説明。かねてから事業を実施していた都市計画道路3・4・4号線及び3・4・17号線が平成19年9月29日(土)に供用開始された。新たに開通した都市計画道路は、図の赤色で示した部分である。

現在のコミュニティバス西線は、図の黄色で示した経路を通過して運行しているが、今回、道幅の広い都市計画道路が開通したことから、より安全な運行を図るために、経路の変更をしたい。

本日も承認いただきたいのは、「コミュニティバス西線の運行経路について、図の黄色い箇所から赤色の箇所へ変更することの可否」についてである。

(会長)

ただいまの説明について、何か質問・意見等あるか。

(A委員)

経路の変更により一番影響のあるバス停はどこか。

(事務局)

直近のバス停は、北側だと貝柄山公園入口バス停。南側にも中部小学校入口バス停があるが、いずれも経路の範囲に直接かかってはいない。

(会長)

他に何か質問・意見等あるか。

(一同)

特に異議なく、承認された。

(3) 船橋新京成バス株式会社による新規バス路線について

(会長)

事務局から説明願いたい。

(事務局)

平成19年9月1日、新鎌ヶ谷駅南に「鎌ヶ谷総合病院」が開院した。病院と新京成バス株式会社で協議を重ねた結果、平成19年8月24日に関東運輸局に対して認可申請をしているところ。これに伴う道路管理者との協議も済んでいる。手続きが逆になり恐縮だが、地域公共交通会議の委員各位に報告したく、今回お諮りした。地域公共交通会議はコミュニティバスを中心にご審議いただく会議だが、地域のバスに関する事なので諮ることとした。

路線の詳しい内容等については、船橋新京成バス株式会社から説明いただきたい。

(会長)

船橋新京成バスから説明願いたい。

(I委員；代理M氏)

資料1、資料2に基づき説明。路線名称は新鎌ヶ谷線。運行区間は鎌ヶ谷大仏から新鎌ヶ谷駅北口交通広場を經由して鎌ヶ谷総合病院に至る。停留所は12箇所。運行目的は鎌ヶ谷総合病院開業に伴い、病院利用者や地域住民の利便に供することにある。所要時間は時間帯により19分から21分。運賃は全線170円。現在関東運輸局に路線変更の認可申請中であり、平成19年12月16日の運行開始を予定している。

資料2は前回の会議でも説明しているが、再度説明させていただく。東武鎌ヶ谷駅からパークサイド鎌ヶ谷までの路線である。路線名称はパークサイド鎌ヶ谷線。運行目的として、東武鎌ヶ谷から集合住宅のパークサイド鎌ヶ谷まで、

近距離ではあるが道路が一部狭隘だったためバス運行が難しく交通空白地域となっていたところ、このたび新規路線が完成しバス運行が可能となったことから、新規路線を開設することとなった。平成19年7月12日に認可され、11月3日からの運行を予定している。

(会長)

ただいまの説明について、何か質問・意見等あるか。

(A委員)

初富保健病院や東邦鎌ヶ谷病院のように、鎌ヶ谷総合病院独自で運行するバスは予定されていないのか。

(I委員；代理M氏)

そのような話は聞いていない。

(A委員)

このような経路になった理由は何か。この方面の需要が多いのか。

(I委員；代理M氏)

この経路のほうが比較的渋滞が少ない。混雑する船橋・我孫子線を避けての設定とした。将来的に東武鎌ヶ谷駅から新鎌ヶ谷方面への道路が完成したら、東武鎌ヶ谷駅からの路線も計画している。

当初は東武鎌ヶ谷駅から新鎌ヶ谷方面へのバス路線を検討していたが、都市計画道路が未完成のため、当社の営業所のある鎌ヶ谷大仏からの路線とした。

(A委員)

鎌ヶ谷総合病院は午後も診察があるのか。病院の診察時間に関わらず、手前での折り返し運転などをせずに走らせるのか。

(I委員；代理M氏)

詳しい開院時間は伺っていない。バスは診察時間に関わらず、終点まで運行する。

(A委員)

どのくらいの乗客数を見込んでいるか。バスは何人乗りか。

(I委員；代理M氏)

乗客見込み数に関しては手元に資料がないためこの場では回答しかねる。バスの収容人数はおおむね55人である。

(E委員)

資料2の地図の中の、「鎌ヶ谷駅自治会館」となっているのは「鎌ヶ谷駅“前”自治会館」が正しい。

(会長)

地図の表記の誤りということである。資料1のバスは病院の前まで走るのか。

(I委員；代理M氏)

病院と隣接したところにバス専用の折り返し場所がある。

(4) その他

(会長)

その他、事務局から何かあるか。

(事務局)

資料3に基づき、今年度前半のコミュニティバス「ききょう号」の利用状況について説明させていただく。今年度、4月から8月の利用状況がとりまとまっている。4月は4,319人、5月は4,782人、6月は5,431人、7月は6,061人、8月は6,755人と毎月利用者が増えている状況である。4月から8月の利用者合計は27,348人となっており、ルートが変更になっているため一概に比較はできないが、前年度同時期の17,501人に比べて9,847人の増加となっている。

また、前回の会議でご承認をいただいた新鎌ヶ谷駅北口ロータリーへの「ききょう号」の乗り入れについては、実施時期を平成20年1月初めからとする予定で事務手続きに入っていることを口頭にてご報告申し上げます。

(会長)

今の説明について、何か質問・意見等あるか。

(B委員)

船橋新京成バスの新規路線につき、ききょう号の路線と一部重複があるので、今後両線の利用客数の経過をみておいてほしい。

(事務局)

了解した。

(C委員)

船橋新京成バスの新規路線につき、申請前であれば協議事項ということで構わないが、すでに申請中であるならば報告事項として区別して諮ってほしい。

(事務局)

協議事項と報告事項を区別することにつき、承知した。

5 その他

(会長)

そのほか、何か質問・意見等あるか。

(B委員)

船橋新京成バス株式会社とちばレインボーバス株式会社に聞きたい。今後、

何か新規路線を予定しているか。

(I 委員 ; 代理M氏)

船橋新京成バス株式会社は、市内では一段落したところ。今後新規道路が開通し、さらに需要が見込まれれば新たな事業を検討する。

(J 委員)

ちばレインボーバス株式会社で、市内において現在申請している路線はない。

(会長)

他になれば、会議はここで終了することとしたい。

6 閉 会…会長

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成19年11月27日

氏名

小易 和彦

氏名

土屋 裕彦
